

「コロキウム構造形態の解析と創生2011」 講演論文と形態創生コンテスト作品の募集

〈コロキウムの趣旨〉

デジタル・ファブリケーション、BIM、アルゴリズムック・デザイン、最適化などといった言葉のまわりで繰り返される近年の動き、または蠢きにデザインとコンストラクションの間の垣根が取り払われるのではないかと期待を感じる人々も少なくないのではないだろうか。構造デザインの分野においては、構造物の挙動を予測するための数値計算手法が既に花開き、数理計画法に基礎をおく多くの最適化手法や発見的な手法が提案された十数年の以前に「構造形態創生」という魅力的な言葉のもと、現在の本コロキウムの魁となる「コロキウム構造形態の解析と創生」が開催され、この分野のその後の発展に大きな影響を与えた。そして今、パラメトリック・デザインの技術や情報システム技術とも相まって、更に多くの分野の人々を巻き込み、デザインの変質という期待の星にしてそこはかと無く妖艶な予感を醸成している。本コロキウムは、建築に関連する構造最適化手法や構造形態創生、更にアルゴリズムック・デザインやデジタル・ファブリケーションなどに関する最新の研究や設計事例を持ち寄り、研究者と技術者が一堂に会してこれらを発表し議論し情報を交換することによって、そのような期待が確かのものとなることを願って開催される。

〈主催〉

日本建築学会 構造委員会 シェル・空間構造運営委員会 構造形態の解析と創生小委員会
応用力学運営委員会 構造最適化の理論と応用小委員会
情報システム技術委員会 アルゴリズムック・デザイン小委員会

開催期日—2011年10月27日(木)、28日(金)

会場——建築会館、ホール・会議室等

講演論文の募集要項と形態創生コンテストの募集要領は以下の通りです。詳細は「コロキウム構造形態の解析と創生2011」ホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s17> をご覧ください(本会ホームページより入ることもできます)。特に、形態創生コンテスト参加希望者は必ずホームページにて詳細を確認してください(過去のコロキウム2006-2010の様子、発表論文題目、形態コンテストの入賞作品等も掲載しています)。

● 講演論文の募集要項

A. 講演の範囲

構造物の形態を創り出すための理論、技術に関わる研究発表、及びこれに関係する設計や施工などの事例紹介(既発表のものでも、新たに纏めたものであれば申し込みを受け付けます。構造力学的な手法に限定せず、**材料、生産、計画、環境**の視点からの構造形態に関するアプローチなど、幅広い内容の発表も歓迎します。)

B. 応募資格

講演論文の発表者は、日本建築学会個人会員(準会員を含む)とします。

C. 講演発表登録(申込み)

2011年7月22日(金)までに、下記の事項を明記の上、

E-mail: collo-paper@ae.kagoshima-u.ac.jp

宛に提出してください(形式は自由とします)。

1)講演題目、2)著者および勤務先(連名の場合は発表者に○印を付す)、3)連絡先住所、電話番号及びE-mailアドレス、4)講演概要(300字程度)

コロキウム実施組織において講演の採否を決定し、2011年8月19日(金)までに本人にE-mailにて通知します。

D. 講演論文提出締切日

採用決定者は資料集(講演論文集)の原稿を2011年9月30日(金)までに提出してください。所定の執筆要領(採用通知の際に添付します)に従い、ワープロ等により作成します。1題当たりA4用紙6頁(文字サイズ10pt, 2段組)です。

E. 著作権

1)著者は、著作権を本会に委託していただきます。ただし、本会は、第三者から文献などの複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合には、原著者に連絡し許諾の確認を行うものとします。

- 2) 著者が、自分の講演論文を自らの用途のために使用することについての制限はありません。なお、掲載された講演論文をそのまま他の著作物に転載する場合には、出版権に関わりますので本会に申し出るものとします。
- 3) 講演論文の出版権は、本会に帰属するものとします。

F. 優秀講演の表彰

コロキウム2008から、学生、若手研究者・技術者を対象に、優秀な講演を選考し、表彰しています。詳細は「コロキウム構造形態の解析と創生2011」ホームページをご覧ください。

G. 講演申込み・問い合わせ先

講演論文事務局 E-mail アドレス : collo-paper@ae.kagoshima-u.ac.jp

●形態創生コンテスト2011の応募要領

A. コンテストの趣旨

形態創生のアルゴリズムや考え方をを用いた、建築空間や構造物の「新しいかたち」や「独創的なアイデア」を評価するコンテストを実施します。本コンテストは今回が第6回となりますが、年々応募者が増え、注目されるコンテストの一つとなっています。今回も様々な分野の多くの人に参加して頂き、形態創生のおもしろさや可能性を感じてほしいと考えています。

B. 課題(テーマ)

「合理的に『変化する』かたちが造る建築」

解説；多くの人には建築はどっしりとして変化しないもの、動かないものと考えられていますが、そうでしょうか。次のような事例も参考に独創的な『変化する』かたちが造る建築を提案してください。

- ✓ 地震や風の力を受け流す、あるいはそれら外乱のエネルギーを吸収する建物。免震構造や制振構造もひとつの例でしょう。
- ✓ 開閉する機構を持つ建物。開閉式屋根で大きな開口率をとりたい。合理的なルーバーを考えたい。あるいは壁面から大きなものを効率よく搬入したいなど。
- ✓ 合理的な施工のために建設中にかたちが変化する建物。たとえばパンタ・ドームシステムや、リフトアップ工法があります。
- ✓ 出来上がった後にかたちを変える建物。たとえばその時々用途や環境に応じて形を変える建物。あるいは集客施設として人々の注目を集めるために一時的に変形する。

「こんな形が面白い」「こんな形がユニーク」のみの提案ではなく、建築の形態を見つける方法の説明や提案が含まれていることが望まれます。コンピュータプログラムによらない方法の提案も歓迎します。また、建築物を構成する部位・部品などを対象とすることも可能です。

C. 応募資格

個人あるいは個人を代表者としたグループとします。なお、同一の個人または代表者名での複数の応募をすることはできません。

D. 審査委員(敬称略, 50音順) (予定)

審査委員長 ; 大森博司(名古屋大学)
審査員 ; 新谷真人(早稲田大学/オーク構造設計)
斎藤公男(日本大学名誉教授)
坂口紀代美(日本美術家連盟会員/彫刻家)

特別審査員(特別講演講師)
; 松川昌平(000studio)
梶田洋子(桃李舎)

E. 応募エントリー及び応募締め切り

応募エントリー；応募希望者は**2011年7月22日(金)**までに、【氏名(グループの場合は代表者と構成員の氏名)・所属・電話番号】を明記の上、コンテスト事務局 E-mail アドレスまで申し込んでください。エントリー番号を返信します。

提出期限；**2011年8月31日(水)**まで。郵送の場合は当日の消印有効。

F. 提出物

提出する作品を A3判(横使い)2枚にレイアウトしてください。形態のCG化、着色などは自由です。模型写真の使用は可能ですが、模型自体は提出できません。作品には応募者名や応募者を特定できる記号などを記入することはできません。それぞれのA3用紙裏側にはエントリー番号と応募者名の明記をお願いいたします。

G. 表彰

応募された作品をもとに入選者を若干名選出し **2011年9月下旬**に通知します。入選者は「コロキウム構造形態の解析と創生 2011」公開審査にて作品のプレゼンテーションができます。同日、審査委員会により最優秀作品、優秀作品などを決定し、入選作品とともに表彰状を授与します。

これらの作品は「コロキウム構造形態の解析と創生 2011」論文集に収録するほか、「建築雑誌」および日本建築学会シェル・空間構造運営委員会ホームページに掲載する予定です。

H. その他

- ① 応募図面その他は返却しません。
- ② 入選作品の著作権・特許権は応募者に帰属しますが、「建築雑誌」、本会ホームページへの掲載や日本建築学会編の出版物への無償での使用を条件とします。
- ③ コンテスト提出物中の写真・図版などコンテンツについては、入選作品が論文集およびホームページに掲載される関係で、著作権が応募者に帰属しないものについては応募者自身で許諾を受けたうえで著作者等を明記するものとします。掲載できない場合がありますので注意してください。
- ④ 構造形態の解析と創生小委員会のホームページで形態創生のフリーウェアを公開しています。これらのプログラムを用いた提案も歓迎しますが、その場合はその旨を作品中に注として示してください。
- ⑤ 応募要領に関する質疑は **2011年6月15日**までコンテスト事務局 E-mail にて受け付けます。回答をまとめて **6月30日**までに「コロキウム構造形態の解析と創生 2011」のホームページに掲載する予定です。
- ⑥ 本要項に追加変更がある場合は、「コロキウム構造形態の解析と創生 2011」のホームページに掲載しますのでご注意ください。

コンテスト事務局 E-mail アドレス ; collo-contest@ae.kagoshima-u.ac.jp

○「コロキウム構造形態の解析と創生 2011」全体の問い合わせ先

コロキウム事務局 E-mail アドレス : colloquium@ae.kagoshima-u.ac.jp

ホームページ : <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s17>

資料集の刊行について:本コロキウムの講演論文と形態創生コンテスト入選作品及び形態関連の情報を編集し、資料集を刊行する予定です(有料にて頒布)。